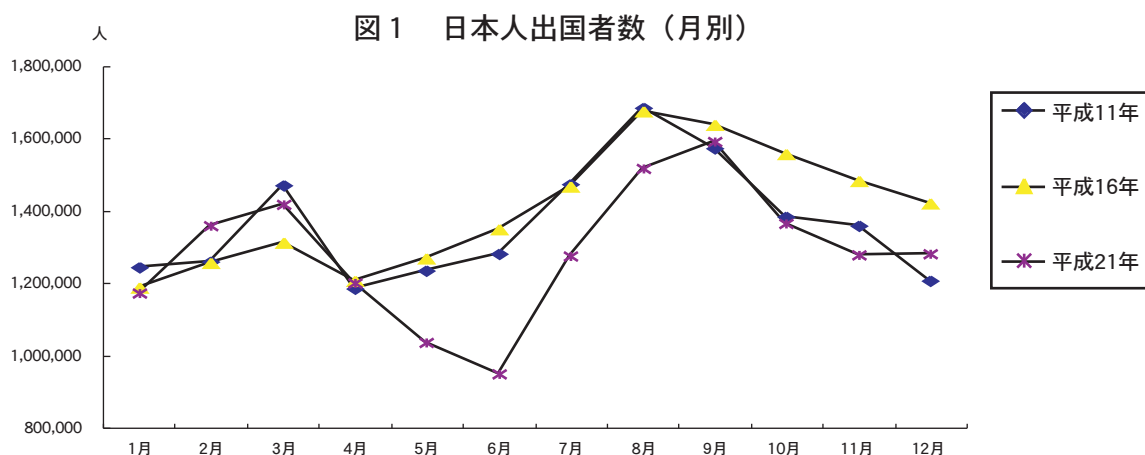


日本人出国者数の移り変わり

毎年、お盆になると、海外へ出かける人々でごった返す関西国際空港の様子が放映されていますね。統計データから見た、日本人出国者数について、月別、年齢別にどのような特徴があるのでしょうか。法務省入国管理局によれば、平成21年の日本人出国者数は、15,445,684人で、3年連続の減少となっております。

月別に見ますと、8月と9月に多く、次のピークは3月になっているのがわかります。また、平成21年6月が大幅に減少しているのは、新型インフルエンザの影響と思われます（図1）。



次に、年齢別について、どうでしょうか。平成11年から平成21年を見てみると、30～50歳台は、ほぼ横ばいで推移しているのに対し、20歳台は、24.9%から17.1%と7.8ポイント減少しました。一方、60歳以上は、13.5%から19.6%と、6.1ポイント増加し、若者と「60歳以上」が逆転しました（図2）。

若者が多いイメージもあった「海外旅行」が、平成21年では、0～19歳を除いて各年齢別にほぼ同率で楽しめるようになったと言えるでしょう。

